

COLUMN

何故、探究学習が求められるのか？

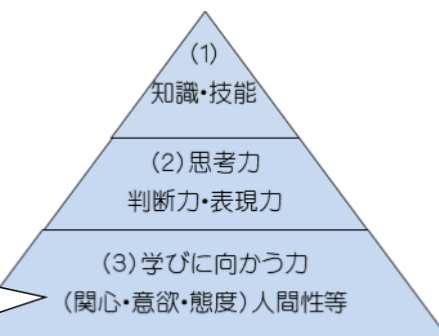
「学びのエンジンを育成」

主幹教諭 菊川 雅子

A 世界には今、何カ国あるでしょうか？  
B 世界の飢餓に苦しむ子供たちを救うには、どうすればよいでしょうか？

AとBの問題の違いは何でしょうか？

Aは明確な答えがある問題。Bは、「明確な答えが無い」問題です。今、Bのような明確な答えの無い「問い」に取り組む探究学習や、高校生自身が興味関心のあるテーマに対して、自ら「問い」を立て、解決策を考える課題研究が重要視されています。



では何故、今「探究学習」や「課題研究」が重要視されているのでしょうか？

右の図は、新学習指導要領に示された学力の三要素です。

これまでの学力といえ、(1)(2)が中心で

あり、(3)はあまり重要視されてきませんでした。しかし、研究・検証の結果、(3)こそが、(1)(2)を伸ばす学びのエンジンとなるものが解ってきました。そして、そのエンジンにあたるのが、まさに探究学習やその先にある課題研究なのです。

現在、鹿本高校生は、「探究学習」や「課題研究」に熱心に取り組んでいます。これは、かつて批判された「活動あつて学び無し」「進路と別の話」とは異なるレベルの取組なのです。ある生徒は、課題研究に取り組む中で、理系科目の知識が必要であることに気がつき、物理や化学の勉強に

グローバル探究コース TODAY

シンガポール国立大学 オンライン交流会

令和2年9月23日(水) 5限、6限目、グローバル探究コース1年生38名は、シンガポール国立大学で日本語を学んでいる学生さん48名とZOOMを使って交流を行いました。本校生2〜4名のグループに対し、大学生も2〜4名でグループ対グループの形での交流です。



事前にお互いに自己紹介動画を交換し、SDGsの話や、お互いに知りたい内容をやりとりしながら

1年生のチームながら素晴らしいチームワークで自分たちの論をしっかりと守り、負けない試合展開で、二勝二分の6位。次年度はさらにパワーアップしてチャレンジしてほしい！



ら、英語探究の授業を使って「仕事と育児」「地域活性化」などについてのプレゼンを準備してきました。本番は、調べた内容についてお互いにプレゼンし、質疑応答を行うという内容でした。

グローバル探究コース CHALLENGE

熊本県英語大会 ト大会 総合4位

熊本県英語大会 ト大会 総合4位

令和2年10月10日(土)に第16回熊本県高等学校英語大会がオンラインで開催され、県内の12校から22チームが出場。本校からはグローバル探究コースの1年、2年を中心に、鹿本A、鹿本B、鹿本Cの3チーム出場しました。今回の論題は「日本政府は、(ハイブリッド車を含む)化石燃料車の製造と販売を2035年までに禁止すべきである。是か非か。」という、実際に国会でも取り上げられるようなテーマでした。これまでは熊本市内の進学校が上位を独占する中、22チーム中鹿本高校は鹿本Cチームが6位、鹿本Aチームが9位という好成績で、総合成績は12校中4位という成績でした。入賞はできなかつたものの、次年度につながる素晴らしい闘いぶりでした。



- 鹿本Aチーム  
萬田くん(菊鹿中出身)  
久富さん(鹿本中出身)  
高見さん(菊鹿中出身)  
菊川さん(菊鹿中出身)  
古田さん(泗水中出身)

指導者の小森田先生からの「平常心」という言葉を大切に、前年度優勝校に対しても落ち着いた試合運びを見せた。二勝一敗一分で9位。

○鹿本Bチーム

- 下田さん(普通科・鹿本中出身)  
原賀さん(普通科・山鹿中出身)  
金子くん(普通科・三会中出身)  
葛原さん(菊池北中出身)  
洲野さん(菊池南中出身)  
小山さん(山鹿中出身)



○鹿本Cチーム

- 林田さん(植木北中出身)  
岩崎さん(菊池北中出身)  
魚島さん(出水南中出身)  
中野さん(山鹿中出身)  
中野さん(鹿本中出身)



Cチーム岩崎のコンストラクティブ・スピーチ



Aチーム古田のアタック・スピーチ